

平成 23 年 9 月 21 日

受益者の皆様へ

DIAMアセットマネジメント株式会社

当社ファンドの基準価額下落について

以下の通り、当社のファンドにおいて基準価額が大きく下落いたしましたので、お知らせいたします。

1. 基準価額および下落率（9月21日現在）

ファンド名	基準価額(円)	前日比(円)	下落率
ネット証券専用ファンドシリーズ 新興市場日本株 リアル型	7,950	584	6.84%
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ (毎月分配型) <ブラジルリアルコース>	7,622	405	5.05%

2. 市場の動向

国内株式

欧州の財政危機が金融システム全般に悪影響を及ぼすとの懸念が深まる中、先週末に実施された欧州財務相会合で債務危機に対する具体策が打ち出されず、投資家のリスク回避的な動きが強まったこと等から、16日から20日にかけて円に対してブラジルリアルが大幅に下落しました。また、20日の国内株式市場が欧州の財政危機に対する懸念から下落したことも、基準価額の下落要因となりました。

ハイブリッド証券市場等

19日の日本の休日を挟んでブラジルリアルは、対米ドルでは1ドル=1.8ブラジルリアル（8月末：1.59ブラジルリアル）、対円では1ブラジルリアル=42円台半ば（8月末：48円台）にまで急落しました。足元のブラジルの動向については、インフレ率が依然として高止まりする状況ながら、8月末に実施された予想外の利下げは同国の市場全体に不透明感を高め、それ以降、ブラジルリアルの下落基調が続いています。更にギリシャがデフォルト（債務不履行）に陥るとの観測が強まったことや、米国経

当資料は3枚ものです。P.3の「本資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等：DIAMアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号
 加入協会：(社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

110921投信業管313937-臨時開示-1

済の失速懸念等、市場全体のリスク許容度は低下しており、ブラジルレアル等の新興国通貨が下落基調にあります。

また、ハイブリッド証券市場も8月末以降下落基調にあります。ギリシャのデフォルト懸念や、ギリシャ国債を保有する欧州の金融機関に対する懸念の高まりを背景に、投資家がリスク性資産を削減する動きが加速したため、通貨のみならずハイブリッド証券価格も下落傾向となりました。

3. 今後の見通し

国内株式

米国の経済指標の悪化や、欧州の財政懸念等の問題がリスク要因としてある一方で、一部では業績が堅調に推移している企業も散見されます。このような状況下で、引き続き世界の大きな変化を捉え、独自で成長し続けていくことのできる企業を中心に投資していく方針です。欧米の金融情勢や東日本大震災等、外部環境の変化によってニーズが再認識され、普及が早まる商品やサービス、市場等について特に注目したいと考えています。

ハイブリッド証券市場等

欧州における債務問題は短期的に解決できる問題ではなく、今後もリスク性資産市場は不安定な動きが継続すると予想されます。既に金融市場は高い確率でギリシャ国債のデフォルトを織り込み済みですが、仮に債務不履行に至った場合には、一時的にせよ金融市場が一層混乱する可能性もあるため、暫くはボラティリティの高止まりが予想され、神経質な動きが継続すると考えられます。

主要先進国の国債利回りが過去最低水準となる中、高い利回りを享受できるハイブリッド証券に対する投資家の潜在需要は根強いと考えられます。金融市場に落ち着きが見え始めれば、ハイブリッド証券を物色する動きが再び活発化し、長期的には現在の信用スプレッドの水準は低位に収斂すると予想します。

ブラジルレアルについては、インフレ率の水準に因らずに追加で利下げが実施される可能性があることも目先の上昇を抑える要因となります。金融緩和策等の対策が奏功し、金融市場が落ち着きを取り戻すこととなれば、中長期的なファンダメンタルズの見通しの優位性や、相対的な金利水準の高さもあって徐々にブラジルレアルに資金回帰すると見えています。

以上

当資料は3枚ものです。P.3の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等 : DIAMアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

110921投信業管313937-臨時開示-1

[お申込みに際しての留意事項]

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式・公社債及び不動産投信(リート)等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては 投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧下さい。

投資信託に係る費用について

ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。

申込時に直接ご負担いただく費用	: 申込手数料	上限3.675%(税込)
換金時に直接ご負担いただく費用	: 信託財産留保金	上限0.5%
投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用	: 信託報酬	上限1.995%(税込)
その他費用	: 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。 投資信託説明書(交付目論見書)等でご確認下さい。	

(ご注意)

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、DIAMアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率を記載しております。特定ファンドの取得をご希望の場合には、当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

[本資料のお取扱いについてのご注意]

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。

当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

投資信託は、株式・債券及び不動産投信(リート)等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

当資料における内容はあくまでも作成時点(2011年9月21日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

投資信託は

1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料は3枚ものです。P.3の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等 : DIAMアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
 加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会